



平成 30 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社ショクブン

代表者名 代表取締役社長 黒川 真 太 郎
(コード：9969、東証、名証第二部)問合せ先 管理本部長 中村 清 澄
(TEL. 052-773-1011)業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月 26 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期 連結業績予想の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,999	百万円 △73	百万円 △106	百万円 △394	円銭 △41.07
今回修正予想(B)	7,970	△44	△109	△806	△83.97
増減額(B-A)	△28	29	△3	△411	
増減率(%)	△0.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	8,791	△27	△72	△149	△15.52

(2) 平成 30 年 3 月期通期 個別業績予想の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,993	百万円 △133	百万円 △136	百万円 △409	円銭 △42.64
今回修正予想(B)	7,959	△110	△144	△821	△85.51
増減額(B-A)	△34	22	△8	△411	
増減率(%)	△0.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	8,778	△89	△102	△160	△16.68

(3) 修正理由

平成 30 年 3 月期通期業績につきましては、売上が当初見込みから下振れしたことに加え、台風や長雨による低温で野菜の生育が悪くなった為、仕入価格が高騰し製造原価が上昇したことで、収益面で厳しい状況となっております。販売管理費においては、各種施策を実行し経費削減に努めており、前年対比減となる見込みではありますが、粗利利益率低下の影響が想定以上に大きく、営業収益及び経常収益段階の今期黒字化は困難となる見込みとなりました。

また、当社グループは継続的に営業損失を計上しているため、共用資産である本社及び工場についても帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

個別業績予想についても、連結業績予想と同様の理由により前回予想を修正致します。

2. 減損損失の計上について

前述のとおり、当期営業損失の計上（2期連続の営業損失の計上）となる可能性が高いことから、当社の保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、その収益性などを総合的に検討した結果、当第4四半期連結会計期間において、減損損失として4億20百万円を特別損失として計上することといたしました。

以 上